

岩手北部森林管理署	
タイトル	コンテナ苗を活用した低コスト造林への取組
実施年月日	平成25年10月29日(火)
実施場所	岩手県二戸市シビックセンター及び国有林コンテナ苗試験地
参加者	局署：東北森林管理局、青森・岩手各森林管理署 23名 外部：森林総合研究所(東北支所・東北育種場・東北北海道整備局) 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・静岡各県 近隣市町村、種苗組合、森林組合、林業事業体 NPO法人等 82名 計105名
<p>【取組の概要】 森林・林業再生のためには、初期投資(造林コスト)を低く抑え、得られる林産物収入を高くする必要があり、低コスト林業を推進するため、再造林費用の削減の有効手段である、コンテナ苗の技術開発と普及を図る必要がある。 この低コスト造林の取組みとして、コンテナ苗をテーマとした公開セミナー(講演会と現地検討会)を森林総合研究所と共同で開催した。</p>	
<p>【取組の成果】 公開セミナーの開催により、技術開発に向けた試験研究・事業の取組みのP・Rとコンテナ苗の普及拡大につながった。</p>	
<p>【出された意見】 コンテナ苗の価格がまだ高く、造林コストの削減となっていない。 コンテナ苗造林により下刈りの軽減等育林コストの削減が必要。 苗木生産者としては、初期投資の関係上、苗木の規格を早く決めてほしいとの要望があった。 現地で行われた植付け体験では、植付けの省力化が体験できた。</p>	
<p>【今後の課題】 多雪寒冷地である東北地方では、まだコンテナ苗の普及が遅れており、技術開発の取組みと、民・国連携したコンテナ苗による低コスト造林技術の確立が必要である。</p>	

タイトル コンテナ苗を活用した低コスト造林への取組



東北森林管理局長の挨拶



講演会の様子



講演会でのディスカッション



コンテナ苗試験地の説明



現地検討会の様子



コンテナ苗植付け体験